

## 「光の道」構想に関する意見

意見提出元	個人
意見項目	意見内容
<p>1. 超高速ブロードバンド基盤の未整備エリア(約10%の世帯)における基盤整備の在り方についてどのように考えるか。</p>	<p>○ 未整備エリアは、山間地や離島のような過疎化が急激に進んでいる地域が相当含まれているものと思われる。青壮年の減少、高齢者の増加、独居老人の増加、空き家の増加など集落の構成要素上から、また、地震や大雨などによる山間地の大規模崩壊など災害発生への対応上から総体的に捉えるとブロードバンドサービスに対する地域のニーズ、住民のニーズは都市部と違ったものがあると思われる。また、経済合理性の観点から、災害に対する信頼度からも山間地に於けるブロードバンド基盤整備は、FTTHを基本とするのではなくBWA（無線ブロードバンド通信システム）を基本とする考え方が必要ではないかと思われる。</p> <p>○ BWAとした場合、ケイタイ端末を使った災害情報の一斉配信やテレビ電話での健康確認、安否確認など多様なサービスを行政側から提供することが容易になるものと思われる。</p>
<p>2. 超高速ブロードバンドの利用率(約30%)を向上させるためには、低廉な料金で利用可能となるように、事業者間の公正競争を一層活性化することが適当と考えられるが、NTTの組織形態の在り方も含め、この点についてどのように考えるか。</p>	